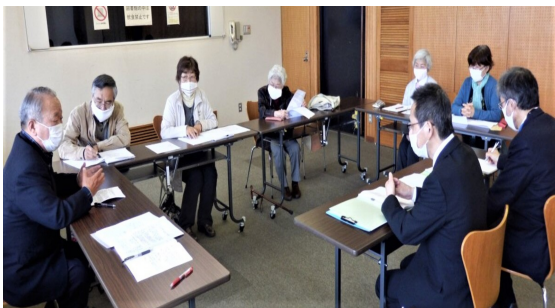


たくさんの署名(2606筆)ご協力ありがとうございました。

市は閉館について、利用者・子どもたちに説明する責任があります。「予算の削減」で納得できますか？



4月16日図書館長らと懇談

市から回答がございましたが。

「①児童図書館の存続は、使わずらそと防犯上の問題からできない②説明会はできません。」
 ①の回答は納得できないうえ、早速懇談会を申し入れしました。



中野市長 直接の受取を拒否。

市の対応は「請願や要望」は秘書課で預かることが通例。直接市民の声に耳を傾けることは市長の仕事ではないでしょうか？
 会うこともせず、市民の方を向いて市政をしているか、大いに疑問です。
 選挙時の「みなさまのご意見」に耳を傾けます「はウソなのか」



3月26日 署名提出

5分どころか手渡した。

3月26日、市長の在庁を確認し、「地元からの要望なので、署名簿を市長に直接手渡したい。5分でもいいので」の申し入れに、取り次ぎ拒否。伝言で会うて手渡すことを切望したところ、夕方になって「市長は会わない」と秘書課から電話があり、翌26日に署名簿を提出しました。
要望書の回答を4月10日までご求めました。

情報公開で得た「閉館する理由」資料と私たちの考え。

- 理由その①**
 「一般向けの資料が混在している。児童に特化したものになれば、蔵書が充実し、読書環境がよくなる。」
- ★児童館の図書室の予算は月額500円にもなりません。全く、現場を見ずして、図書室になると読書環境がよくなるのでは呆れてしまいます。
- 理由その②**
 「運営」スト面で有利となり、人件費、図書館の回送便の費用が減り、予算の削減ができる。」
- ★本音は「ここにあるよりです。3月議会で彦坂議員(共産)が質問し、あきらかになりました。尾西図書館の修繕費を捻出するため、地域住民の福祉、文化は全く頭になく、費用を減らすことが目的のようです。」

- 理由その③**
 「開館口の遠いから入る人が少なくて、利用しづらい、防犯面で不審者への対応に不安をおぼえる。」
- ★児童館の隣りが派出所であり、開館口の使えないところがあるのだったら40年も経過してから、今更である。後付け理由であることが、はっきりしています。

懇談会で私たちの疑問や質問、まじまじ考えたい。

私たちはこの児童館、児童図書館が開館出来たいきさつを説明し、児童として使えないところは何かを問いました。3つの理由と市川家への敬意も払われない「予算」の納得できる内容ではありません。

市当局は「議会で承認しているのだから、粛々とすすめるだけ」と言います。しかし3つの理由があるのなら、堂々と説明をすべきではないかと思えます。住民の気持ちを無視した内容だから説明できないのでしょうか。

開かれた尾西児童図書館の今後を一緒に考えましょう!

とき 5月22日(土)午後2~4時
 ところ 尾西南部公民館 1階学習室

尾西児童図書館の存続を求める会
 代表 浅野 美和子(女性史研究家)
 連絡先 野村 美知子 TEL 68-2209